

現状と効果 現在の国道47号の現状と整備効果

現状1 災害・交通事故により最上～庄内間が寸断

◎国道47号は、最上地方と庄内地方を結ぶ唯一の幹線道路ですが、当該区間は河川氾濫、大雨の通行規制区間が存在するとともに、交通事故による規制も多く、これらが原因で昭和59年から平成25年の30年間に44回の全面通行止が発生しています。



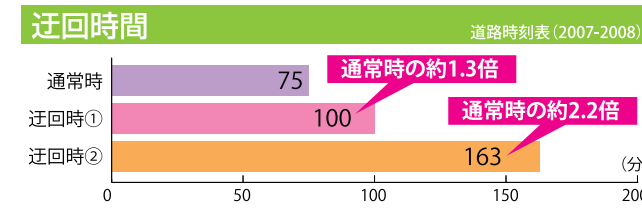
豪雨による国道47号の寸断 (H25.7)



交通事故による全面通行止 (H22.12)

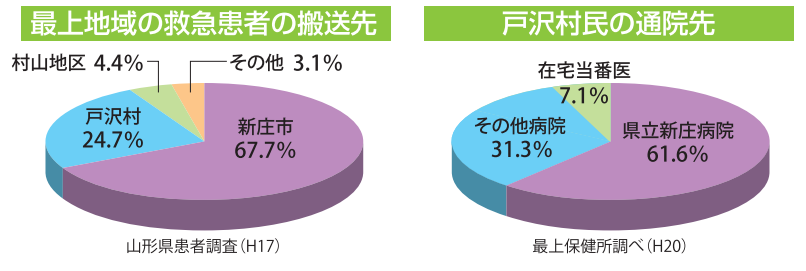
新庄～酒田迂回道路

◎当該地区の国道47号は迂回路がなく、道路が寸断すると非常に大きな迂回となります。



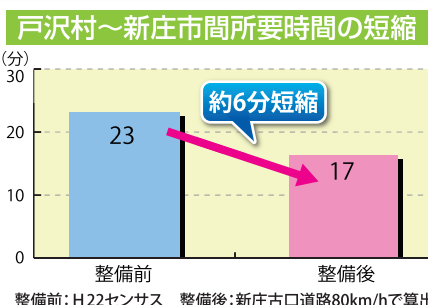
現状2 最上地方の拠点病院へのアクセス水準が低い

◎最上地方の救急患者の6割は県立新庄病院へ搬送されますが、戸沢村から新庄病院へのアクセス時間は約23分と患者さんに対し、負担が大きくなっています。
◎また、戸沢村住民の約7割は新庄市の病院に通院しており、特に高齢者の方にとって通院の負担が大きくなっています。



新庄古口道路の効果 早く確実にアクセス可能な圏域が拡大します

◎新庄古口道路は最上川沿いから離れた所を通過し、自動車専用道路で整備するため、災害に強い寸断しない道路になります。
◎また、速達性にも優れるため、救急搬送や日常の通院の負担が大幅に軽減されます。



道路ネットワーク

高規格幹線道路	高速自動車国道
	開通区間
	建設区間
	建設区間(うち直轄区間)
	予定路線
高規格幹線道路	高速自動車国道と並行する一般自動車専用道路
	開通区間
	調査区間
	計画路線
地域高規格道路	開通区間
	整備区間
	調査区間
	計画路線
	候補路線
	一般国道(国管理区間)

※()書きICは仮称

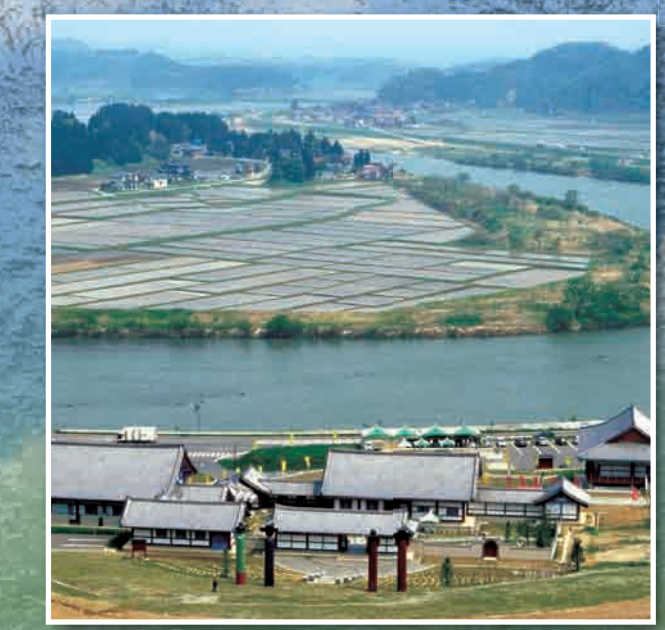


地域高規格道路 新庄酒田道路

地域高規格道路は、安全性・高速性を提供し、地域の連携・交流・連絡を促進することで、活力ある地域づくりを支援するために計画されています。新庄古口道路は、地域高規格道路「新庄酒田道路」の一翼を担い、新庄地方生活圏と庄内地方生活圏を相互連結します。さらには東北中央自動車道、東北横断自動車道酒田線、日本海沿岸東北自動車道とも連結し、格子状ネットワークを形成し、地域間交流を促します。



国土交通省 東北地方整備局 山形河川国道事務所
 〒990-9580 山形市成沢西四丁目 3-55
 TEL 023-688-8421(代) FAX023-689-1081
<http://www.thr.mlit.go.jp/yamagata/>



地域高規格道路 新庄古口道路

国土交通省 東北地方整備局 山形河川国道事務所

地域高規格道路 新庄古口道路

事業概要

新庄古口道路は、新庄市大字本合海より戸沢村大字古口に至る延長約10.6kmの自動車専用道路です。地域高規格道路「新庄酒田道路(延長約50km)」の一部として計画され、地域間交流の促進、2箇所の通行規制区間の解消及び災害時における代替路線の確保が期待されます。

整備の目的

新庄古口道路は、新庄市大字本合海を起点に、戸沢村大字古口を終点とする道路であり、

特殊通行規制区間、事前通行規制区間
及び隘路区間の解消

災害時の緊急輸送路の確保

高速交通体系の形成による広域交流の促進

を目的として行う事業です。

計画路線概要

- 起点 山形県新庄市大字本合海
- 終点 山形県戸沢村大字古口
- 延長 10,600m
- 車線数 4車線(暫定2車線)
- 道路区分 第1種第3級(自動車専用道路)
- 設計速度 80km/h

事業の経緯

- 平成6年12月 計画路線指定(新庄酒田道路)
- 平成7年8月 調査区間指定
- 平成12年12月 整備区間指定
- 平成13年4月 着工準備
- 平成17年4月 事業着手

標準断面図

